

警告

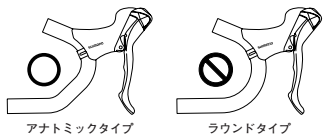
- 製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品を使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働かにくいため、ご使用できません。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

握り幅調整ブロック(パッドスペーサー)使用時のご注意

8度の握り幅調整ブロックを取付ける場合は、アナトミックタイプのハンドルバーをご使用ください。ラウンドタイプのハンドルバーに使用するとケーブルの引きしろが短くなりブレーキ力が不足することがあります。



ご使用方法

SI-6SF0A-002

ST-2300 / ST-2303

シマノ・トータル・インテグレーション

SHIMANO
TOTAL
INTEGRATION

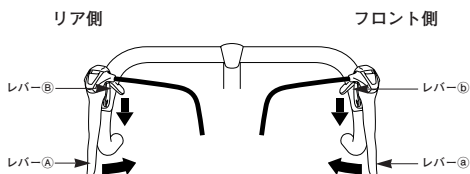
シマノ・トータル・インテグレーション特徴

ブレーキレバー本来のタテ方向の動きに加え、同レバーをヨコ方向に操作して変速をおこなうデュアル・コントロール・レバーを実現。手を離すことなく簡単に変速が行えます。

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	2300	
シフティングレバー	ST-2300	ST-2303
アウターケーブル	SIS-SP40	
スピード	16	24
フロントディレイラー	FD-2300	FD-2303
フロントチェーンホイール	FC-2300	FC-2303
ボトムブラケット	BB-UN26 (MM110)	BB-UN26 (LL113)
リアディレイラー	RD-2300	
フリーハブ	FH-2200	
カセットスプロケット	CS-HG50-8	
チェーン	CN-HG50	
B.B.ガイド	SM-SP17	

操作変速方法

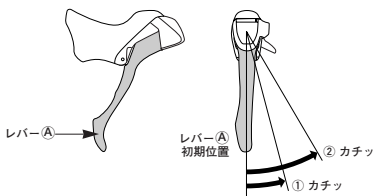


レバー(A): リア小ギアから大ギアへの変速
レバー(B): リア大ギアから小ギアへの変速
レバー(a): フロント小ギアから大ギアへの変速
レバー(b): フロント大ギアから小ギアへの変速

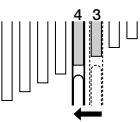
各レバーとも、操作後に指を離すと必ずレバー初期位置に戻ってきます。

リア側レバーの操作

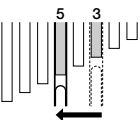
- レバー(A) ……リア小ギアから大ギアへの変速
レバー(A)には①、②の2ヶ所にカッチというあたりがあります。



①: 1段分だけ変速
例: 3段目から4段目へ



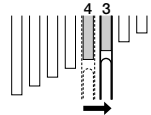
②: 2段分一気に変速
例: 3段目から5段目へ



- レバー(B) ……リア大ギアから小ギアへの変速
レバー(B)を1回押しはなすと、大ギアから小ギアへ1段変速します。



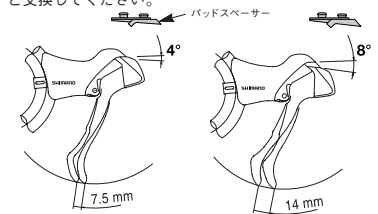
例: 4段目から3段目へ



RD-2300の取扱い説明書もあわせてお読みください。

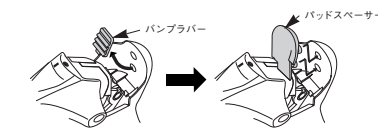
握り幅調整

握り幅を小さくしたい時はバンブラバーを外し、付属のパッドスペーサー(4度及び8度の2種類があります)と交換してください。



交換方法

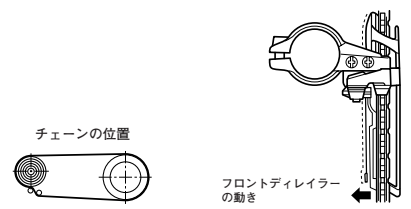
1. バンブラバーを外す。
2. パッドスペーサーの2ヶ所の突起部に薄くグリスを塗布します。
3. パッドスペーサーの突起部を奥まで挿入します。



トリム操作(音鳴り防止機構)

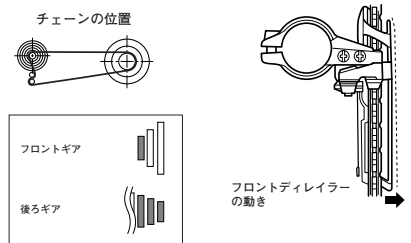
< ST-2300 >

チェーンポジションがフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合は行います。レバー(b)を軽く押す(カッチとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



< ST-2303 / ST-2300 >

チェーンポジションがフロント小ギア、リア小ギアでフロントディレイラー外プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合は行います。レバー(a)を軽く押す(カッチとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに大ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。

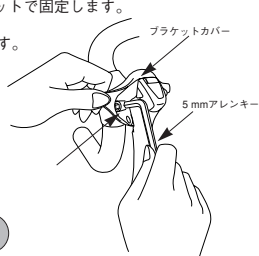


FD-2300 / 2303の取扱い説明書もあわせてお読みください。

取付け

ハンドルバーへの取付け

ブラケット部外側の取付けナットで固定します。ブラケットカバーをめくり、5mmアレンキーで締め付けます。



締め付けトルク:
6~8 N・m (60~80kgf・cm)

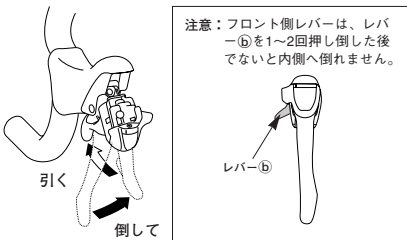
ブレーキケーブルの取付け

使用ケーブル

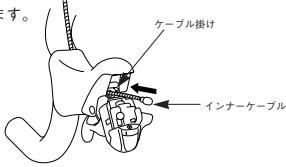
- ・インナーケーブル ……
- ・SLRアウターケーシング ……

ケーブルは、ハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さで使用してください。

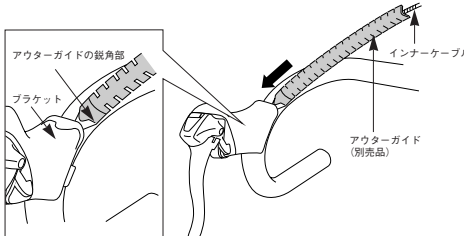
1. レバーを内側へ倒して(シフティング操作)から引き、ケーブル掛けにケーブルを通しやすくします。



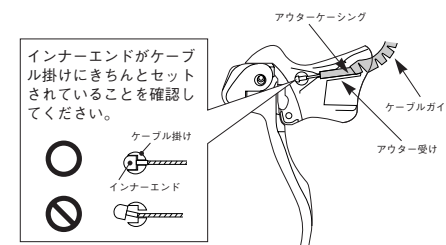
2. インナーケーブルを通します。



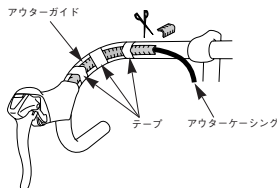
3. アウターガイドをインナーケーブルに取付け、その鋭角部をブラケットにセットします。
注意: インナーケーブルのグリスは拭き取らないこと。インナーケーブルにゴミ等を付着させないこと。



4. インナーケーブルにアウターケーシングをセットし、アウターガイドに沿ってブラケットにセットします。



5. アウターケーシングをハンドルバー前方に沿わせ、その上からアウターガイドをかぶせます。このときハンドルバーの長さに応じてアウターガイドをカットし、テープなどで仮止めします。



6. 最後にパーテープを巻きつけます。

シフティングケーブルの取付け

使用ケーブル

- ・インナーケーブル(ステンレス スチール)
- ・SP40シールドアウターケーシング(①)
- ・SP40アウターケーシング(②)



インナーケーブルの通し方向

アウターケーブルの刻印側からインナーケーブルを通してください。ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。

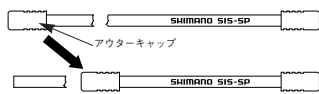


アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

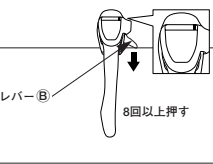


アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。

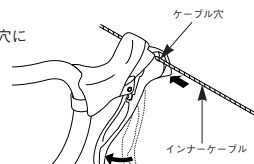


リア側レバー

レバー(B)を8回以上操作して、レバー位置をトップにセットし、インジケーターでトップ位置を確認してからケーブルを取付け、調整を行います。



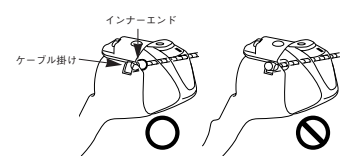
ブレーキバーを握り、インナーケーブルをケーブル穴に通します。



シフティングケーブル穴にケーブル掛けが一致していない場合には、再度レバー(B)を押し、一致させてから、ケーブルを取付けてください。

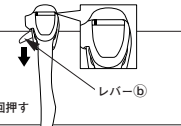


確認
インナーエンドがケーブル掛けに確実にセットされていること。

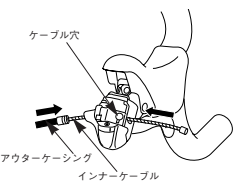


フロント側レバー

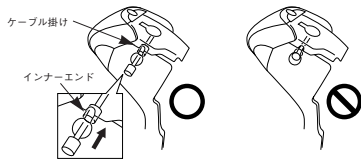
レバー(b)を2回以上操作して、インジケーターでロー位置を確認してから行います。



ブレーキバーを握り、インナーケーブルをケーブル穴に通します。

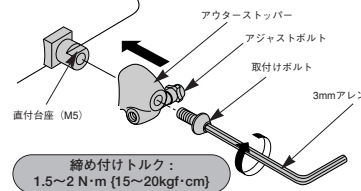


シフティングケーブル穴にケーブル掛けが一致していない場合には、再度レバー(B)を押し、一致させてから、ケーブルを取付けてください。
確認: インナーエンドがケーブル掛けに確実にセットされていること。



アウターストッパー

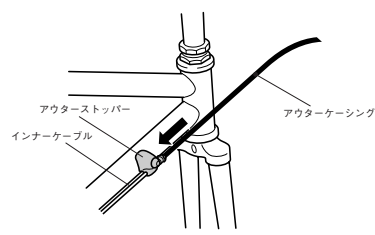
1. ダウンチューブにアウターストッパーを取付けます。



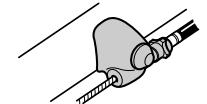
アジャストボルトを締め込んだ状態で取付けてください。アジャストボルトの調整シロは6回転です。

2. インナーケーブルを通し、アウターケーシングをセットします。

アウターケーシングはハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さのものを使用してください。

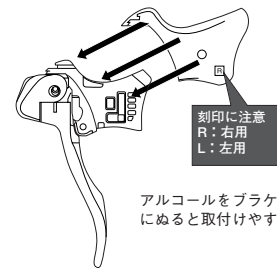


確認:
アウターケーシングがアウターストッパーにきちんとセットされていること。



ブラケットカバーの交換

ブラケットカバーの各凸部がそれぞれブラケット体の窪みに合うようになっています。



アルコールをブラケットカバー内側にぬると取付けやすくなります。